

新しい挑戦

ブルーベリーを新たな特産品に

古くから栗や梨の栽培が盛んな地域として親しまれてきたかすみがうら市。近年、新しい作物に挑戦してブルーベリーなどの生産が行われています。

新作物推進協議会メンバーの皆さん



ブルーベリーの魅力を広めたい

かすみがうら市では、水田転作の推進や遊休農地の解消と農業の活性化を図るため、ブルーベリーなどの新作物作付の助成を行っているほか、新作物推進協議会では、ブルーベリー栽培の講習会や研修を行っています。

ジャムやジュースなどの加工品で有名なブルーベリーですが、最近ではスーパーなどで生のブルーベリーを見かけることも多くなりました。甘ずっぱいさわやかな

味覚が人気を呼んでいます。

かすみがうら市では平成8年から本格的な栽培が始まりました。数多くの品種があり、また品種ごとに生育環境の適性が異なるため、非常に気難しい果物だといわれています。植物の北限と南限が交差しているかすみがうら市だからこそ、さまざまなブルーベリーに挑戦できるのです。市内ではティフブルーやコリンズ、ブライトウェルなどが栽培されています。

Blueberries as a new specialty

In Kasumigaura City, planting new crops, such as blueberries, is subsidized. The New Crops Promotion Conference gives seminars on such planting. You may eat blueberry products, such as jam and juice more frequently; however, fully ripened fresh blueberries are especially sweet.

3月の終わりごろから花が咲きはじめる、6月から9月初旬までブルーベリー狩りを楽しむことができます。実がやわらかくくずれやすいため、市販のものは完熟前に出荷しているものがほとんどです。木になったままで完熟したブルーベリーの甘さは格別です。自慢の味を、ぜひ体験しにきてください。

ブルーベリーのお茶やジャムなど

